

平成 29 年度 大阪 2 部女子 適用規則

採点規則 2017 年版を以下のように部分変更して、大阪高体連 2 部適用規則とする。

【演技の採点】

D スコアー（構成）

難度点 (DV)	<p>跳馬・・・2017 年版採点規則の難度点に 1.00 点をプラスする。</p> <p>段違い平行棒・・・終末技を含む最大 8 つの高い順からの難度を数える。</p> <p>平均台・・・終末技を含む最大 8 つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>ゆか・・・最大 8 つの高い順からの難度を数える。 *アクロバット系、ダンス系の区別はおこなわない。</p> <p>同一技の難度は演技の中で 1 回のみ承認される。</p>
構成要求 (CR)	4 つの構成要求 (各 0.5×4) 最大で 2.00
加点	<p>段違い平行棒、平均台、ゆかの演技において</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い演技に対して最大で 0.50 を与える (一部分または演技全体の流れに対して評価する) (0.1/0.2/0.3/0.4/0.5) *美しさ (体線・開脚度など) *雄大さ (宙返りの高さ・振幅の大きさなど) <p>・種目特有の加点 (+0.5) <各種目の項目に記載></p>

E スコアー（実施）

10.00 から、実施と芸術性の減点をおこなう。

短い演技

短い演技の場合、E スコアの最高点は以下の通り。

6 技以上の実施	10.00
5 技の実施	8.00
4 技の実施	6.00
3 技の実施	5.00
2 技の実施	4.00
1 技の実施	3.00

【各種目の規則】

跳馬	跳躍台は 新型跳馬 (高さ 120 c m)		
	開脚跳び・閉脚跳び・台上前転の D スコアは 1.00 とする。E スコアは 5.00 から減点する。		
	2 回の跳躍を実施し、良いほうのスコアを有効点とする。		
	禁止技…宙返りを伴う跳躍技		
	※種目特有な実施減点の追加	支持局面 第 2 空中局面	・支持が長い ・高さ ・距離 ・ダイナミックさに欠ける

	構成要求 (CR)	種目特有の減点	A難度を認められる技	備考
段 違 い 平 行 棒	① 低棒け上がり ② 高棒け上がり ③ 棒に近い回転系の技 ④ ③とは異なる回転系の技 種目特有の加点 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。	「低棒から高棒 へジャンプして 移動する-0.5」 を削除する	・さかあがり (開始技) ・そんきよ ・高棒～ 棒下振り出し下り	禁止技… C難度以上の技 (倒立局面を逸脱する ことによって難度が変わ る技は禁止技としない) (例) 後方浮支持回転倒立
平 均 台	① 前後開脚 (180度) の跳躍技を 含むダンス系の技の組み合わ せ ② 片足上のターン (360度以上) ③ 前方/側方のアクロバット系 の技 (前転を除く) ④ 後方のアクロバット系の技 (後転を除く) 種目特有の加点 終末技がA難度以上であれば、 +0.5 の加点を与える。	変更なし	・さかあがり (開始技) ・両足踏切～両足また は片足立ち (開始技) ・伸身とび ・かかえ込みとび ・ ねことび ・前転 ・後転 ・前転とび下り ・側転とび下り ・片足踏み切り 側方伸身宙返り下り ・片足踏み切り 前方伸身宙返り下り	・片足踏み切り、とびあが り、片足立ち (開始技) は台を手で支持しても まい。 禁止技… C難度以上の技 (ダンス系の技を除く)
ゆ か	① 180度の前後/左右開脚また は左右開脚屈身の跳躍技を1 つは含む2つのリフまたはホ プの直接または間接の組み合 わせでの移動 ② 片足上のターン(360度以上) ③ 前方/側方の空中局面を伴う アクロバット系の技 ④ 後方の空中局面を伴うアクロ バット系の技 種目特有の加点 以下の実施があれば、+0.5 の 加点を与える。 3つの技からなるアクロバット 系シリーズ(3つとも空中局面を 持つアクロバット系の技であること)	変更なし	・前方倒立回転 ・側方倒立回転 ・後方倒立回転 ・倒立前転 ・後転倒立 ・ねことび ・かかえ込みとび	禁止技… C難度以上の技 (ダンス系の技を除く)

- 注 ①A難度を認められる技も構成要求 (CR) に使用できる。ただし、平均台の前転、後転は使用できない。
②段違い平行棒のさかあがりは開始技でのみ難度を認める。(開始技で、低棒け上がりを行ったが難度が承認されなかった。そののち、さかあがりを行ったとき、さかあがりの難度は認める。)
③ゆかの空中局面をともなうアクロバット系の技に、前転とび、後転とび、ロンダートは含まれる。